

Believe yourself

——可能性を信じる ということ

フリーアナウンサー いくた 生田さり
BERRY MOMENT International 代表

平成十九年の十一月から、中国障害者芸術団の日本公演「千手観音〜My Dream〜」に、司会・ナレーションで出演させていただいています。全国



ツアーでメンバーと一緒に過ごす中で、多くの感動と学びがありました。今でも鮮明に覚えているのは、リハール初日の出来事です。朝一番、誰もいないはずの真っ暗なステージから、美しいピアノの音色が響いてきました。「誰が弾いているの？ どうしてライトをつけないの？」不思議に思いながらステージに向かい、そして、ピアノを弾いていたのは全盲のピアニスト、金元輝ユヅキくんだということを知りました。光を一度も見ることがないという彼の、あまりに美しいピアノの音色に涙が止まりませんでした。それは私にとって、「この世で不可能なことは何もない」そう信じられそうな瞬間でした。

舞台には、盲目の歌手や演奏家、耳

の不自由なダンサーたちが大勢出演しています。彼らと私は、片言の中国語と手話、そしてボデイランゲージでコミュニケーションをとっています。思っていることの全部が伝えられなくても、表情が見えなくても、心は伝わるということを彼らは教えてくれます。昨年開催された北京ペキンパラリンピックの開・閉会式にも、芸術団からは百二十名以上が出演し、世界中の人たちに感動のパフォーマンスを届けてくれました。

「不可能」というのは、自分が「無理だ」と思った瞬間に初めて生まれるもののような気がします。どれだけ難しいと思える状況でも、「できる！」と心から信じることができれば、どんなことでも可能になるのだと。

夢や目標は、いくつになっても生きる輝きです。そして、くじけそうなきには、周りの人たちの応援が何よりも心の支え。価値観が揺らいでしまうような時代だからこそ、周りの人たちを、そして自分自身を信じて歩いていきたいですね。